



## 注入治療によるエイジングケア —少ない注入量で顔全体の印象を改善—

田中 亜希子  
Akiko Tanaka, M.D.

あきこクリニック Akiko Clinic

協賛：アラガン・ジャパン株式会社

### ■抄録

近年、「しわ」や「たるみ」の改善を、美容外科手術以外の手法により行い、若返りを図る様々な手法が開発されている。その中で、医療従事者にとっても、患者にとっても比較的取り入れやすい手法として普及しはじめているのが注入治療である。一概に注入治療と言っても、これまでは患者の主訴に応じて、もしくは「しわ」や「たるみ」の状態に合わせて、その「しわ」そのものを埋めるような改善方法がとられていたが、近年では、顔面の解剖に加え、加齢に伴って顔面がどのように変化していくのかといった老化のメカニズムの理解が進み、骨格や筋肉、皮下脂肪などの老化現状を考慮した注入方法が主流になりつつある。皮膚だけに現れていると思われていた「しわ」や「たるみ」は、実際には、骨格の損失や後退、筋肉の拘縮や肥大、皮下脂肪の減少や下垂などの影響を受けており、それらを鑑みた治療計画を立てることが不可欠である。この度、こういった顔面の解剖と老化のメカニズムの理解を基にしたポイントへ注入することによって、顔全体の印象を効果的に改善する方法、VISTA-Shapeを紹介する。治療にあたり、唯一の厚生労働省承認薬を用いたボトックスビスタ®、ジュビダームビスタ®を使用し、具体的な症例を用いて分かりやすく解説したい。

memo